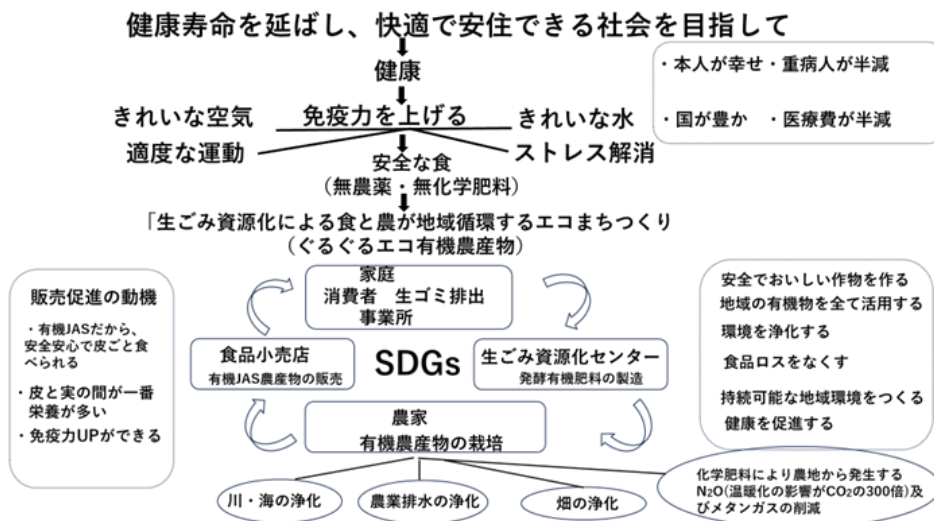


株式会社ケイアンドケイの取組

取組のタイトル	健康寿命を延ばし、快適で安住できる社会を目指して
取組の時期	(始期) 令和3年4月～ 継続中
関連するSDGsのゴール・ターゲット	

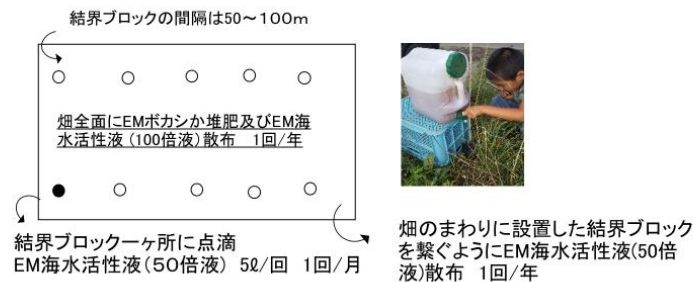
取組内容

- 1 「生ごみ資源化による食と農が地域循環するエコまちづくり」
 - 1) 生ごみ資源化システム (三笠市全市)
 - ・人口：7,980人、世帯数：4,680軒、生ごみ処理量：560t/年
 - 2) 発酵有機肥料 (生ごみボカシ)・EM活性液を活用している生産農家
 - ・三笠市内15軒、三笠市以外15軒 (メンバーを含む)
 - 3) ぐるぐるエコ有機資材及び特裁農産物の販売箇所
 - ・東光ストア (札幌市内15店舗)
 - ・コープさっぽろ (宅配トドック)
 - ・札幌三越・丸井デパート (2店舗)
 - ・ぐるぐるエコの店 (ケイアンドケイアンテナショップ)



- 2 新技術の EM 整流結界農法を活用して、生産農家最大の課題である安全でおいしい有機農産物等を、手間をかけず、収量を上げ、ローコストで持続的に供給できる体制をつくるべく皆んなで研究協力し、食と農及び農村と都市の善循環をつくることで健康寿命をのばし、快適で安住できる社会づくりを目指し以下に取り組んでいます。

EM整流結界農法の概要



- ①令和3年に「農村・都市ぐるぐるエコの会」を立ち上げ
現在のメンバー：大塚ファーム（新篠津村）、はるか農園（千歳市）
渡辺農産（南幌町）、佐藤農場（南幌町）
城地農産（南幌町）、よご農園（恵庭市）
石浦農園（平取町）、(株)ケイアンドケイ（札幌市、三笠市）

②メンバーの取組状況（抜粋）

1) 大塚ファーム

作付面積 17ha [ハウス 61 棟、お米 7 ha]

主な作物：ミニトマト、トマト、キュウリ、ズッキーニ、さつまいも、大根、ニンジン、葉物野菜、ハーブ、お米など約 30 品目

取組の成果：全体として良いといえないが、この異常気象下ではまずまずの成果と考える。EMに取組んで 20 年、その成果はあると思うし、もっと善玉微生物を増やしてレベルを上げたい。整流結界と電磁波は微生物が好む環境と関係あると思う。グラビトン炭の活用に関心がある。



2) はるか農園

作付面積 17ha [野菜ハウス 2 棟、養鶏ハウス 3 棟]

主な作物：かぼちゃ、玉ねぎ、じゃがいも、にんにく、大根、ケール、小麦、大豆、お米(1, 2ha)など約 10 品目

取組の成果：異常気象と人手不足の中で大変苦労したが、後半の盛り返し状況からも効果があったと考える。



3) 渡辺農産

作付面積 13ha [野菜ハウス 9 棟、お米 7 ha]

主な作物：ピーマン、ハウレン草、トマト、キュウリ、なす、かぼちゃ、大豆、じゃがいも、お米など約 15 品目

取組の成果：ピーマン、ハウレン草にアブラ虫等の発生がほとんどなく、効果ありと思う。

